

## 令和5年度 学校教育活動についての調査 自由記述より

\* 自由記述欄にいただいたご意見の一部です。同様なご意見や学級・個人等が特定されるようなご意見については、割愛させていただきました。校内職員では全てのご意見について真摯に受け止めてまいりますので、どうぞご了承ください。

### 1 学習面について

- 難しい課題にもチャレンジさせてくれます。型にはめず、探究したいことを好きなところまでさせてくれるので、子どもがとても楽しそうに毎日過ごしています。認めてもらえているという実感が、子どもにとって居場所があるという安心感に繋がっていると思います。
- 音楽の先生は、色んな音楽を聴かせてくれて楽しいし、色んなおもしろいことも教えてくれ、たくさんほめてくれる、だらける空気もなく音楽に集中できるので担任の先生になってほしいと子どもが家で話していました。
- 図工の先生は、どんな風にしたいの？と聞いてくれたり、作りたいものの相談に乗ってくれるし、おもしろい、図工が楽しみだと話していました。
- 授業等は子ども達が意欲的に学習ができるように工夫してくれていると思います。
- 専門家を招いての特別授業や七小プロジェクトとして様々な取り組みを行っているところ。
- 運動に力を入れている印象で、とてもいいと思う。ただ、運動の苦手な子・嫌いな子には少し苦痛かもしれません。うちの子は楽しくやれています。
- 先生方の負担が多い中、オンライン授業などに参加できるようにご対応頂いている。人手不足な中、大変ありがたいです。
- 運動会や音楽会等行事についてはコロナ禍からうまくシフトできていると思いました。iPadやChromebookの活用も慣れてきているかと思います。基本に立ち返っていただき、子どもたちの基本的な生活や学習、人との関わりに目を向けていただきたいと思います。
- 子供のネット、PC依存について  
PCの持ち帰りは可能であれば無くしていただきたいです。  
GIGAスクールにより、オンライン授業をしていただけたりと大変ありがたく感謝しております。しかし、PC持ち帰りにより自宅でもPCを使ってしまうことが多くなり、依存を心配しております。授業中にyoutubeを見ているお子さんもいるそうです。
- クラス人数が多すぎて、担任の先生がクラス全体を把握できていないことが多すぎる。特定の子に手をかけすぎていて、他の子どもたちは、おざなりにされている。また授業が中断することが多々あり、集中できないと言っている。
- クラスによって指導の差がある。学力の差が出ないようにして欲しい。
- クラスによって指導の仕方が違い、学力の差が心配です。又、クラスの児童にも差が大きく、先生の指導が行き渡っていない。集中出来る環境でなく、学びたい子どもが、学べない環境になってしまい、心配だ。

令和の日本型学校教育の構築に向け、従来までの指導方法からの脱却が求められています。キーワードは、「主体性」「個別最適な学び」「協働的な学び」です。それに伴い、従来の“ティーチング”から“ラーニング”へ（教えから学びへ）、“コンテンツ”から“コンピテンシー”（内容から資質・能力へ）ベースへ指導観が変容しております。つまり、規則やルールで縛るのではなく、自身で振り返り、改善・調整できるように教師や大人がコーチングをしていく姿勢が重要になってきます。

指導力の差については、我々にとっても喫緊の課題となっています。現在は、経験年数に応じてボトムアップ型の研修に取り組むなど、フォローアップ体制を築いている段階です。しかし、まだまだ至らない部分があるのも事実です。その際はぜひ、担任と対話をする姿勢をもって頂き、目の前の課題を一緒に解決していきましょう。

また、クラスの人数については改正義務教育標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）により、現5・6年生は、40人が定員上限、4年生以下は35人が定員上限となっております。

## 2. 子どもの様子について

- 上の学年の子どもたちと一緒に下校したり、放課後に遊びに行ったりするなど学年の枠にとらわれず仲良くしていると思う
- みんな挨拶がしっかりできること、明るく元気な子が多い。
- 高学年の子が低学年の子を見守る体勢が出来ているようで、6年生の子に助けられる事も多々あったのでありがたいです。
- 授業参観では発表の機会が多くあり、多くの子供達が発表する事や自分の意見を自主的に発言する事に意欲的でした。  
周りの子供達もお友達の発言を聞く姿勢はとても良いと思いました。
- 送迎やパトロールで時々学校に出向くと、こんにちはと挨拶してくれる子がいます。
- 学校全体を見ても落ち着いているように感じますが、今年の6年生は特に落ち着いているように感じます。
- 子どももクラスや学年の友達と男女関係なく仲良く遊んでいて、本当に毎日楽しそうに色々な話をしてくれます。素直で優しい子が多い印象です。
- スポーツフェスティバルを見て感じたのですが、七小の子はとても明るく元気で、周りのお友達が頑張っているときに応援したりしていたのが印象的でした。
- 保護者が来校すると、自分から挨拶してくれる子が多い。学期ごとに授業参観があり、子どもたちの成長の様子を見られるのが良い。
- 子供が毎日学校に行くのが楽しいと言っています。クラスでの出来事、友人や先生との関わりなど子供が話してくれる為、中身が見えるというか問題なく過ごせているんだなと嬉しくなります。いじめ等の問題は自分の子供からは聞きませんが、大なり小なりこの学校でもそういうことはあるかもしれないですし、snsの発展でそれを子供が使いこなすなど自分の子供時代とは全く違う世界で今の子供たちは生きてるので大人が子供のことを理解しているようで理解しきれていない部分も多くあるのかもしれないと感じています。
- 転校してきたので当初心配な事が沢山ありましたが、柏七小の皆さんはとても優しく、また温かく受け入れてくださり、今まで通っていたのではないかと思うほど楽しく日々過ごしています。感謝しかありません。
- 基本の挨拶。目を見て、おはよう、ありがとう、ごめんなさい、さようなら。家庭で教える事ですが、学校全体で皆それができるようにになると色々な事への意識が良い方に変わると思います。スポーツや音楽の強豪校と言われている所は必ず挨拶を大切にしていると感じます。
- 以前より、スクールガードさんの挨拶に対して返していない子を見ます。挨拶が元気にできる子を見ると、やっぱり嬉しくなります。
- 高学年になるとやる気のある子とない子、またその間に埋もれてしまう子などの差がはっきり出てくるのだなと感じています。先生方も対応に苦慮されていると思いますが、授業中パソコンを自由に使わせたり特別扱いで良いのかは疑問です。また、男子の人間関係において口の悪さが気になります。何を言ってもいいわけではないこと、いい方についても指導していただきたいです。コロナ対策やICT教育等引き継ぎお忙しいとは思いますが、今一度基本的な生活、学習、人間関係に目を向け子ども達全員が良い方向に向かえるような環境づくりをお願いします。
- 担任の先生によって考え方や指導方針が様々なことは理解していますが、最低限やるべきこと（学力に繋がること）、秩序やルール（生活面）が守られていないクラスがあるように感じます。子ども同士の会話を聞いていても、クラスの様子が「子どもたちには、そう映ってしまっているのか。」と心配になることもあります。若い先生方が増えている中、若い＝クラスが荒れるという構図ができないように、子どもたちも含め、今後ともご指導の程、どうぞお願いいたします。

本校の学校教育目標である『心豊かで たくましい子どもの』育成の実現のため、「かしこい子」「がんばる子」「やさしい子」「きょうりよくする子」を目指す児童像として掲げています。肯定的な意見で多く出ていたのが、「やさしい子」「きょうりよくする子」に該当する内容でした。引き続き、本校児童の強みを引き出せるようにマネジメントしていきます。一方、挨拶については肯定的に捉えている方とそうでない方に分かれました。恐らく、個人差が問題であったり、地域や保護者の方々に対して足りなかつたりする部分があるように伺えます。引き続き指導するとともに、学校運営協議会でも話題とし、地域で子ども達を支えていけるよう体制づくりを行っていきます。

### 3. 施設・設備について

- 自然が多く学校内にザリガニ釣りができるような池があるところ。
- いつ学校に行っても校舎がきれいだなと思います。古い校舎でも大切に使い、そうじをきちんと行うように先生方が丁寧にご指導くださっているのだなと思いました。先日の4年生の持久走記録会でもたくさんの落ち葉を先生が集めてくださっていました。いつもありがとうございます。
- いつも庭が手入れされていて気持ちが晴れ晴れします。環境の良さが子どもたちへも伝わっているように感じます。
- 仕方がないこととはいえ古い備品が多いように感じます。町探検の時に使っていたバインダーが緩くなっていて、用紙が風に飛ばされ生徒が道を飛び出して追いかけていました。物品は長く大事に使ってほしいのですが故障したものは事故の元にもなると思うので適宜変えていってほしいです。
- 来年度、学校改築があるようだが、子どもたちの外での活動が限られてしまうのが心配。
- トイレが汚れていて、トイレに行くことをためらうことがあるようです。安心してトイレに行ける環境づくりをお願いいたします。
- 子ども達が使っているお手洗いを使わせていただくと汚れが気になります。  
高学年の女子トイレの汚物入れの周りに汚物が溢れ散乱している様子を何度も見ているので、みんなが気持ち良く使える様使い方等マナーをもう一度伝えてあげた方が良くと思います。(コレは本当なら家庭で教える事だと思えますが...)
- お手洗いの洗面台など、石鹼が薄まっているようで、備品代を徴収して液体石鹼や、お掃除洗剤などの消耗品をぜひ購入していただきたいです。昨年にお手洗い掃除ボランティアをさせていただきましたが、もっと頻繁にボランティアを募ってはいかがでしょうか？お手洗いの環境が良くないと、子どもたちが病気になると思います。お湯が出ないことも、手洗いがしにくい環境につながりますので、水道の改修工事もしていただきたいです。どうぞよろしくお願いたします。
- 配布された通学路の図で、門の名前が明記してあるものと無いものがあり、行事のたびに資料を漁りました。
- 雨の日の校庭水没は、対策して頂きたいです。災害時の避難場所として安全に過ごせる環境が望ましいです。いちよう門から帰る場合、車が通りやすい環境になっていて、いつ連れ去りが発生してもおかしくないと思います。七小出身ではありませんが、私自身小学校6年生の下校時に不審車両に追いかけられました。夕方以降ルームから1人帰りする子が多々いて、そういう子供は同じ曜日や時間帯に1人帰りしていて狙われやすいと思うので、下校時間から17:00頃まで警察による巡回をお願いしたいです。

また、すでに設置済みかもしれないのですが、偽物でも良いと思うので、防犯カメラの設置も希望します。

教材備品については、予算が限られているため、優先順位をつけて購入しています。バインダーについては計画的に購入できるように手配します。

トイレについては、児童への清掃指導を徹底するとともに、次年度での保護者の美化ボランティア活動を多くできるようにしてまいります。

雨の日の校庭水没については、校庭に水が長時間溜まらないよう、意図的に校舎側に集まるような設計となっています。ご承知おきください。

### 4. 行事について

- 行事など、時代のライフスタイルや情勢に合わせて柔軟に変化・ご対応頂いていると思う。子どもも無理なく、親も無理なく通えている感じがとても有難い。
- コロナ禍以降、生徒たち自身で行事などに取り組む機会が増えたのは良いと思います。
- こどもたち主体のスポーツフェスティバルの提案は良かった。競争ものばかりでなく、やはりダンスとかはあったほうが見応えはある。
- スポーツフェスティバル子どもたち主体で、整列など少なく楽しそうで良かった。
- 新しいことに柔軟で、行事も多く子ども達が学校に行くのが楽しくなるようなことをしてくださっていると思います。
- 行事などの案内が分かりやすいよう努力してくださってるんだなと伝わります  
共働き世帯の為に、イベントや例えば書き初め展覧会など時間を広く設けてくださり時間の都合が付けやすく助かってます。

- レインボーDAYは普段なかなかやる機会のないレクがあって、子供達みんなで楽しめる時間ができてとてもいいと思う。
- レインボー音楽祭はそれぞれの学年のカラーにぴったりの曲が選ばれていて、子どもたちの良いところが最大限に発揮できているし、見応え抜群で子どもたちも私たちもとても楽しい行事の一つです。全部の学年を、もっとじっくり聴かせていただけたらありがたいです。

運動会はフェスティバルにふさわしく、子どもたちも楽しそうで、こちらも楽しく応援できました。先生方の準備や指導、とても大変だったと思いますが、今までにない、みんなが楽しめる素晴らしい運動会になったと思います。ありがとうございます。

- 異学年交流があり、子ども主体の行事が行われていたり新しいことにも挑戦している学校であると思います。
- 個人的な意見ですが、学芸会（劇）のような行事があってもいいと思います。
- スポーツフェスティバルにはがっかりした。6年生にとっては、6年間の集大成を疲労する場でもあるのに、低学年のお世話係の為だけに駆り出されているのか？と思ってしまった。先生方の働き方改革はとても大事なことだと思うが、どの行事も、負担を軽減するという名の手抜きに見える。
- 持久走記録会、「走りきることに意味がある」から「競わせない」ということになっていましたが、走ることを好きな子ども、得意な子どもにとっては、しっかり順位をつけて、表彰してあげることも大切。運動が苦手または好まない子どもには良かったかもしれませんが、切磋琢磨という言葉もありますし、なんでも、緩い雰囲気になるのは好ましくない。今年のような行事のありかだと、社会に出て、自分を表現する力や、戦っていく力が弱くなってしまいう気がする。
- 暗唱大会また復活してほしいです。
- 第一子の1年生の親なので、レインボーDAYとかが音楽の発表会だとは分らなかったで、年間行事の下とか、1年生の親向けの資料に簡単な説明があるとより良くなると思いました。我が家はもう分かるので大丈夫です。
- 子どもの書道展覧会を休みが取れずに見に行けず残念でした。授業参観の日などと同じ日にしてくれると嬉しいです。
- 他学年交流レクや授業等、他学年と過ごす時間がもっと増えると良い刺激になると思います。  
給食も時々クラス半分ずつ入れ替えて食べる等する機会があると楽しいかも。（私が小学生のころは時々ありました）  
6年生卒業前に、6年生が色々なクラスに混ざって給食を食べる日を作っても楽しいかも。
- 持久走大会の親の見学は本当にやめてもらいたいです。  
仕事でいけない親もいるのでそういう家庭は子が応援されないのがわかっているからかわいそう。（特に遅い子なんかは。）  
運動会と違ってパパもいないので、親もママ共同士で集まりがち。知ってる特定の子だけ集団で応援している様子は見ていて気持ちいいものではないです。

新学習指導要領及び時代の変化に伴い、学校行事の在り方も問われています。従来は学校行事が単なる催し物として位置づけられていましたが、新学習指導要領では児童の主体性を尊重し、対話的な学びを促進する機会として位置づけられています。このことを念頭に置き、今後の学校行事について検討していきたいと思います。

## 5. 教職員について

- 先生が子供のことを1人1人よく見ていると感じる。
- 教職員、子供達含めて、学校全体が元気。
- 若手の先生が頑張ってくれている。
- 個性の尊重。学校をあげて児童全員が盛り上がる環境を備えている。
- 校長が入口にたって、朝の挨拶するのは本当に子供にとってもいいと思います！

- 担任の先生に子どもがお友達（他のクラス）の事で困っているという事を相談したら、その日のうちに相手の子と担任の先生と話し合いの時間を作ってくださり解決して下さった。その際、きちんと子どもに どうしたいか 自分で相手と話したいか・出来るか 等確認した上でセッティングして下さり、細やかなお心遣いに感謝しました。  
私も今の担任の先生には安心して子どもをお預け出来ます。そんな先生が居るのはとても素敵だと思います。
- 世の中の状況が変化中、新しい事を取り入れて色々とチャレンジされていると感じます。学内は全学年を通し、明るく元気で健全なイメージ。先生方と生徒が意見を言いやすそう。このまま6年間、風通しが良く穏やかな生活が送れる事を願う。
- 担任の先生がしっかり指導してくれているので、安心して子供を通わせています。連絡帳で質問をしてもしっかり返答していただけるので、ありがたいです。
- 本当に、七小の先生は子どもたちの力を信じ、色んなことに挑戦させてくれ、時には背中を押して勇気をくれたり、素晴らしい先生ばかりです。どの先生も生徒をよくみてくださり、良いところをほめてくださることで、子どもたちの意欲につながっているのだと日々実感しております。ありがとうございます。
- 教頭先生、一人ひとりのことを大切にされて理解しようとして感じます。担任は、子どもとの相性もあるし、親の思いもあるし、うちは良くてよその親は不満だったり、様々だなあと感じます。それは感じ方それぞれですね。資質もあるとは思いますが。
- 先生の個人差が大きい。先生によって、指導の差があり過ぎると思う。その差が少なくなれば、もっと良くなると思う。
- 子供を迎えに行った時に、ものすごく大きな声で、子供達を怒鳴っている先生がいました。  
必要な時は、叱ることはもちろん必要ですが、強い口調で話している内容がちょっと気になりました。
- 先生方も大変だとは思いますが、子どもたちへの対応、言動をもう少し子どもの立場、気持ちを考えてやっていただくと、ありがたいです。
- 間違えたり、失敗しても良いんだと思える環境づくりをして欲しい。怒られたくないから、恥ずかしい思いをしたくないからやらない、と消極的になっているように思う。
- いじめアンケートを書いても、なかなか対応してもらえず、「学校に行きたくない」と聞いて親が連絡帳に書いてようやく動いてもらった。子どもがせつなく言葉にしてアンケートに書いているのにそれに対してすぐに対応してもらえなかったことは残念。なんとも見えない子どもにも目を向けてほしい。5年生は一クラスの人数多すぎて見てもらえていないのではと不安になる。参観日に行っても窮屈そうで可哀そう。最後の年くらい、先生一人ひとりに目を向けていただき、伸び伸び過ごさせてあげたい。
- お忙しいのは承知の上で、相談や悩みがあればスクリーン等でもっと気軽に相談できるとありがたい。連絡ノートでは昼間や出先の隙間で記載できない。授業の様子をwebで確認できたり、先生との面談がオンラインでできると助かります。SNSの使い方、いじめや、性教育や、多様性等、色んな当たり前を学校で教えてあげて少しでも子供達みんなが過ごしやすい世の中になる根っ子を育てていただけたらありがたいです。

まずは、変化を前向きに捉えて頂いていることに感謝申し上げます。教職員と子どもたちのより良い緊密な人間関係づくりが推進できるよう、学校全体で留意してまいります。

要望にある相談内容のDX化については、昨今の働き方を鑑みても素晴らしいアイデアだと思います。次年度からは柏市内で新しい連絡システムの導入が決定しており、一部の機能において担任とやりとりができる予定です。それまでは、学級担任に直接伝えることがありましたら、教頭までご連絡ください。保護者の方と相談しながら、より良い解決へと努めてまいります。いじめ対応については、初動が大切です。その点において不備があったこと、深くお詫び申し上げます。生徒指導スキルの向上ができるように、校内研修体制を強化していきます。

## 6. 校外生活について

- 公園でボール遊びをしていてマンション敷地内に入ってしまったボールを、無断でマンション敷地内に侵入してとった児童達を見たことがある。家庭での躾やマナー教育の問題だとは思いますが、学校でも注意喚起したほうが良いと思う。

放課後の過ごし方については、発達段階に応じて指導をしていきます。また、地域で子ども達を支援していく眼も必要です。引き続き、ご協力をお願いします。

## 7. その他

- 行事や役員など、保護者の負担を減らす方向にシフトしているところがあり、仕事との調整が比較的しやすいと感じています。
- 食育をされているところが良いところだと思います。
- PTAの在り方など、新しい取り組みを導入してくださっているので、開けた学校のイメージがあります。
- 新しいことに柔軟で、行事も多く子ども達が学校に行くのが楽しくなるようなことをしてくださっていると思います。
- ここ数年新しいことを積極的に取り入れていると思うので、引き続きいろいろなことに学校側もチャレンジして欲しいです。そこに家庭と子どもたちが引っ張られ、プラスの作用が働くことを期待します！
- CHEETAHというプロの走り方教室を学校後のグラウンドで有料で習うことができ、体育の授業でも教えていただけるのがとても恵まれた環境だと思います。
- プール指導が外部委託だったのが、継続できてよかったです。
- ホームページの更新を子どもも楽しみにしているようです。ありがとうございます。
- 七小に限らずですが、教職員の労働環境の改善を強く進めて欲しい。  
労働時間の短縮という目先のことではなく、事務作業の効率化や無駄の排除、教員本来の役目である教育や、学級、学校運営の部分に注力できるようにして欲しいと思います。
- 今はコロナも5類になったので、マスクもマストではないかと思います。ですが、インフル等感染性のものが増えてきた時にはマスク推奨を促して欲しいです。みんなで気を付ければ学級閉鎖も防げるかと思えます。  
また、熱はないけど咳が酷いといった時、リモート対応可能も検討していただきたいです。子供達は休みになってしまうのが嫌だと思うので、無理して行くといったこともあると思います。親の仕事の事情ももちろんあるかと思いますが、リモートが出来れば、咳酷いかな？と思ったら無理せず対応でき、感染対策にもなるかと思えます。
- 個人面談は他の保護者に話が聞かれない様工夫してほしい。みんな平等に光を当ててほしい。例えば目立つ子供ばかりがイベントの大役をするのではなく全ての子供が自信をもてるようにしたり心をメンタルを強くする教育をしてほしい。
- 下校について、低学年はコース毎に集団下校するようにして欲しいです。せめて、同じ時間に教室を出るなどの徹底をしていただけると良いと思います。クラスによって終了する時間が大分違うようなので。
- いじめ対策を考慮して他学校で導入しているように、クラス替えは毎年やって頂きたい。
- 昇降口が開くまでの時間を校庭で遊べるように出来たら、活気ある一日になれそう。
- 夏の暑い時期は、リュック通学を学校が推奨してほしい。  
授業参観は、保護者が多すぎて教室に入れず様子が見えない。複数時間や複数日開催してほしい。
- 欠席連絡のFormsですが、たとえば電話をするほどでもないが、体調の詳細、いつまで休みになりそうなどコメントできる欄があれば良いなと思います。
- 将来の夢を身近に感じて努力する力を小さい時から育ててもらいたいので、職業体験や見学、キッズニアへの集団参加など、小学校行事の中で取り入れてもらいたい。  
また、親も子どもの学校での様子が見えるように、定期的に参加など、現状のように継続してもらいたい。
- 髪を染めている子の指導はされているのか気になります。  
今は個人の自由を大切にする時代ですが、低学年から金髪の子や、インナーカラーをしている子がいて、関わりのない子どもは、見た目が怖いと言い警戒しています。

- 学校経営する上で、保護者や地域のボランティアに学校の教務以外の雑務のサポートを頼らざるをえない、そうしないと成り立たない・ということなのであれば、一つの解決策としてお金で解決することを真剣に考えるべきだと思います。いろいろなご意見はあるかと思いますが、保護者側の一つの協力の形として、私はPTA会費を値上げして良いと思います。七小は今年度に入って単発でボランティアを募る方針に移行していますが、ボランティアとはいえ、今の時代、保護者の多くが仕事しながらでのボランティアだと思うので、そういう忙しい中でも時間を割いてボランティア参加して学校に協力した保護者に対し、何らかの形での"有償化"を考えて良いと思います。例えばですが、PTA会費を300円から400円に上げて、学校には協力する気持ちはあるが「参加」協力はできない方には負担増をお願いする一方で、1世帯あたり当年度で4回までボランティアに参加したら翌年度のPTA会費は半額の200円、5回以上参加したら会費無料、本部役員も会費無料、みたいのでしたら良いなと私は思っています。なかなか難しいかもしれませんが、参加する人がより参加したくなるような工夫があると、より持続可能になるかと思います。ただし、PTA会費を値上げすると同時に、外部委託についても積極的に検討する必要が出てくると思います。例えば図書室の蔵書整理はボランティアが適切と思いますが、トイレ掃除は外部委託できないのでしょうか？七小単独での話ではなく、柏市全体の話だと思います。安易に善意に依存せず、仕組みを作って解決していく方向性を、学校経営に携わる方々には、ぜひ議論の俎上に挙げて頂ければと思います。
- 保護者をもっと学校生活に積極的に関わって、地域みんなで子どもを守る、育てる意識を高めることが、子どもの安全につながると思います。  
来年度から、登下校見守りも自由参加になりますが、今一度、子どもたちの生活について、大人がきっちり振り返る時期が来たのだと肝に銘じて他人任せにせず、向き合いたいです。

こちら多岐にわたって建設的なご意見を頂き、ありがとうございました。今後の学校運営の参考資料とさせていただきます。

PTA活動については、重点的に在り方について検討し、不要な役職や仕事については削減してまいりました。また、次年度よりPTA活動は全てボランティア化することになっています。新しいPTA活動の在り方について一緒に考えていきましょう。